

目標達成計画

作成日：平成 22 年 2 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	37	本人のやりたい事、希望などを日頃からお聞きするように心がけているが、もっと具体的に色んな思いを聞いて、実行できるようにしていきたい。	利用者一人一人に今年してみたい事をお聞きしたところ、「外出したい」「立って、歩きたい」どこへ行きたいですか？「温泉に行きたい」と皆さん答えられたので、『全員元気に温泉へ行く！！』を今年の目標にした。	ある利用者さんが「支えてもらわないと、一人では生活できない」と話されたので、職員全員が利用者さんのその思いを受け止め、共に毎日立位リハビリを行ったり、毎日歩くりハビリをする。(何のためにするのか？職員も理解し、利用者さんにもきちんと説明しながら)	6 か月	毎日、体操、廊下を3往復必ず歩く等、リハビリを行っている。
2	41	人によっては水分量が少なかったり、レベルダウンにより、「食べる」行為が少しずつできなくなってきている方がおり、どうしたら、きちんと自分で食事が取れるか、試行錯誤中である。	最後まで自分の口で、おいしく食事ができる！自分で食事(水分)が取れる。	利用者の好みや嗜好を把握し、一人一人に合わせて、水分を取ってもらう。(牛乳、ジュース、ゼリー等)食べる食器も持ちやすいもの、使いやすいものなど色々試してその人に合ったものを使う。目で見て、食べ物と認識できるように、トロミをつけたり、彩りをきれいに。	6 か月	汁気のあるものは、カタクリ等でトロミをつけると、食べ物と思われるようで、しっかり自分で食べられるようになった。水分は、寒天など、試している。箸より大きなスプーンの方が食べやすい事が分かった。
3	48	生活歴から、畑仕事や、庭いじりが好きな方、ご自分の仕事だと思っておられる方が多数おられる事を、職員は把握しているが、今の所ちよっとしたプランターで花や野菜を育てることしかできておらず、もっと畑仕事を一緒にしていきたい。	宇賀の里の畑を作り、野菜を育て、収穫する喜び(達成感)をみんなで感じる！	畑の事に詳しい利用者さんに聞きながら、職員も一緒に畑を耕したり、一緒に園芸店へ行き、苗を買ったり、水やり、肥料のことなど、必ず共に聞きながら行う。個々で出来る事を少しずつ分担して行えるよう、職員が支援し、みんなが参加できるよう配慮する。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。